

令和2年度 学校評価公表シート

岩見沢めぐみ幼稚園

1. 園の教育理念

- ・ 園児一人一人に愛情を持って接する。
- ・ 良いこと悪いことの区別を教える。
- ・ 礼儀作法（特に挨拶）のしっかりした子に育てる。
- ・ 情操教育を通し心の温かい思いやりのある子に育てる。
- ・ 広い自然環境を生かし、自然に親しみ健康な子に育てる。

2. 本年度に定めた重点的に取り組むことが必要な目標や計画を基に設定した学校評価の具体的な目標や計画

評価項目に沿って自己点検、自己評価を実施することによって、教師自らが客観的に自園を見る目を養い、施設の改善、教育内容の改善に主体的に取り組んでいくことを重点項目とする。

3. 評価項目の達成及び取り組み状況

評価項目	取り組み状況
園の教育方針を理解し、指導計画・月案・週案を計画し、保育を展開している。	園の教育方針・ねらいを教職員が理解し、週1回は会議を行い立案・確認をしている。
幼稚園教育要領の特性を理解し、それぞれの活動に目標を持って指導実践している。	毎年指導計画に加筆、訂正を行い、子どもの実態に即した内容にするように努めている。
毎日の保育の評価・反省を行うとともに、日々子どもとのかかわりについて振り返り、次からの保育へ活かせるようにしているか。	教師は日々の記録を行い子どもの実態を把握し、また、各クラスで月や週の目標を定め、毎学期ごとに達成状況を報告し合うようにしている。
研修の意義と重要性を理解し、専門性の向上に努めている。	各研修会や研究会に参加し学んだこと職員会議などにおいて提供し、共有化を図るようにしている。
子どもが明るく伸び伸びと行動し、充実感を味わえるような保育をしている。	一人ひとりの子どものよさを認め、教師が客観的に子どもを見る目を養うように努めている。
規則正しい生活習慣の定着に向けての指導を行う。	登園から降園までの一日の流れのなかで、身に付けてほしい生活習慣の獲得を促している。

身近な環境に親しみ様々な事象に興味や関心が持てるような保育をしている。	隣接している公園に散歩に行ったりしながら、季節の移り変わりなどを自ら発見し気づけるように促している。
子どもが自発的、意欲的にかかわれるような環境構成と子どもが主体的に活動し、幼児期にふさわしい体験が得られるよう工夫している。	自分で工夫して遊び、それが発展して友だちと協力して遊べる環境を準備するようにしている。
幼稚園内外での危険場所・場面を確認し、危険を予測する力を身に付け、環境を整えることができている。	教職員は危険マニュアルを参考にし、危険な事例などを分かりやすく子どもたちに知らせるとともに、園舎や園舎周りの環境を点検している。
苦情や要望を積極的に受け止め、保護者や苦情申し出人とより良い人間関係を築くことができるようにする。	行事後のアンケートなどで保護者の声を聞き、敏速に対応するよう心がけている。また、常に職員間で話し合いを持ち解決するようにしている。

4. 学校評価の具体的な目標や計画の総合的な評価結果

結果	理由
A	<p>昨年度から、質の良い保育の提供に取り組んでいたが、新型コロナウイルス感染症のため普通の園生活とは異なり感染予防の徹底に力をいれてきた。その中でも子どもたちが楽しく園生活が送れるように試行錯誤し取り組んだ。しかし、研修などができず今後の課題も出てきた。今後はそういったことも更に充実した実践ができるように努力を積み重ねていきたい。</p> <p>施設面では環境整備に力を入れており、子ども達が安心、安全に遊べる環境になるように努力しており、概ね目標を達成できた。</p>

5. 今後取り組むべき課題

課題	具体的な取り組み方法
支援を必要とする園児	市の専門機関との連携を図り、研修会などに積極的に参加し、教職員の専門性を高める。
自己点検、自己評価	年度初めに挙げた自己目標を学期ごとに振り返り、改善点を再確認する。
指導計画の編成	新教育要領に基づいた指導計画の作成のために訂正、加筆をさらに加え、園を取り巻く環境や子どもの実態に即した新たな指導計画の編成に取り組んでいく。

6、学校関係者評価委員会の意見

菅原 崇 様(岩見沢市立北辰小学校教諭)

- 1 保護者アンケート集計結果より・・・ほとんどの項目で良いが70%を超えています。新型コロナウイルス感染拡大により様々な活動が制限された中で、これだけ高い満足度を得られたのは、職員の皆様が、感染症対策を講じながら少しでも質の高い教育・保育を施そうと努力された結果であると考えます。特に、「クラスの環境・室内遊具・園庭の遊具はどうですか」の設問では、年少・満3、年中、年長、すべてのアンケートにおいて A が80%以上となりました。長期的な視点に立った計画的な環境整備が、コロナ禍においても効果的に作用した結果と考えます。
- 2 自己評価表集計結果より・・・教職員を対象とした自己評価表の結果を見ると、全ての項目でA(できた)または B(おおむねできた)と回答した割合が90%を超えています。教職員一人ひとりが、大きな責任感を持って職務を遂行していることが伺えます。その中で、C(できなかった)の回答率が若干高め(7~9%)の項目がありましたが、新型コロナウイルス感染拡大防止のための取組が、これまでの常識では対応しきれなかったということへの自責ではないかと察します。この困難な状況に直面しても尚、より質の高い教育・保育を提供しようとする向上心の表れであると捉えます。
- 3 総括・・・総じて、教職員一人ひとりの多大な尽力により、園児および保護者から高い評価を得ています。次年度も、新型コロナウイルス感染拡大防止など園児の安心安全を最優先に考えながら、子どもたちが明るく健やかに成長できる幼稚園づくりに御尽力ください。

石尾 晃義 様(あかしや保育園理事長)

保育理念を基本に教職員が一体となり子どもたちに寄り添いながら、日々の努力の結果として良い評価に表れているように思います。今後一層教職員が知恵を出し合い、子ども一人一人に愛情をもって接し、明るく元気に安心して通園できる幼稚園であることを期待します。

玉田 尚久 様(岩見沢めぐみ幼稚園 父母の会会長)

2020年度の保護者用アンケート集計を拝見させていただいたところ、新型コロナウイルスや災害クラスに見舞われた大雪も少なからず影響していると伺い知れました。園の予算や先生方の負担にも繋がることなので、全ての希望や要望に対応することは現実的に出来ないところですが、園としても日ごろから育児に向き合っている保護者の意見を酌んで形に変える努力は継続していただきたいと存じます。

先生方の自己評価表については、「できなかった」の回答が散見されたことから、子どもたちの成長を見守っている先生方が真剣に園の仕事に向き合っている表れでもあると感じました。先生方も人間ですし、悩み苦しむことも時にはあります。一人でできないことも二人や三人で共有し向き合えば解決できることも多々あります。先生方自身が健康で元気に子どもたちと向き合っただけのように、働きやすい・働きがいがある職場環境構築、チームづくりにも引き続き努めていただくことを期待しております。